

ハイトラスト データコントロール HYTRUST DataControl

クラウドと仮想マシンの暗号化とキー管理 VMware環境の自動セキュリティとコンプライアンス

機密データはクラウドには置かないようにしている。と回答したIT部門責任者は、最新の調査によれば、半数以上にのぼります。機密データも安心してクラウドに保存できる、そんな解決策が必要とされているのは明らかです。昨今の頻発するデータ漏洩事件を見れば、ユーザーアカウントとパスワードが暗号化されずにテキスト形式で保存されていた事例が頻発しています。幸いにも、このような問題は比較的簡単に解決できます。HyTrustの暗号化エージェントはわずか数秒でインストールでき、強力なキー管理機能が、既存の処理に影響せずに、安心・確実なソリューションをもたらします。

主な特長/機能

●仮想環境への万全な対応

偽装ワークロードからの保護だけでなく、ワークロードの移動にも対応し永続的な保護を実現可能

●簡単・便利

15分で保護を実現。GUIからクリック操作で簡単に暗号化することも、APIにより統合することも可能

●強力な暗号化

DataControlは、システムの稼働中も休止中も、すべてのデータにFIPS認定のAES-128/256暗号化を使用し、確実なセキュリティをもたらすので、機密データも安心して任せられます。

●高い透明性とポータビリティ

DataControlは仮想マシンに付随して移動可能です。しかも、パブリック、プライベートを問わず、どのような仮想環境でも稼働し、DAS、NAS、SANなど、各種ストレージに対応します。また、既存のユーザーエクスペリエンスや、仮想マシンの管理方法に影響を及ぼさない、高い透明性を誇ります。

●簡単なキー管理

HyTrust KeyControlで安心、確実、堅牢な、マルチテナントのキー管理

●迅速な暗号化、キー再発行

強力なNIST認定のAES-128/256暗号化で、処理中も休止中もデータを完全保護

●RESTful API

プロビジョニングなどの運用タスクを自動化し、設定の単純化と高い拡張性を実現

●マルチテナント

システム管理を複数に分化できるので、必要に応じた情報共有、業務の分担、人事評価がグループ別に可能。テナントごとに独立した管理アカウントを使用

●ハードウェア アクセラレーション

IntelおよびAMDチップセットのAES-NIハードウェア アクセラレーションで最高のパフォーマンスと透明性を実現

●フォレンジック(不正証跡)ログ

管理設定やシステムの変更を幅広く掌握し、記録・通知します。

HyTrust KeyControl機能

HyTrust KeyControlは仮想サーバー、物理サーバーのどちらにも簡単に導入できます。DataControlの暗号化エンジンと連携し、すべての暗号化およびキー管理ポリシーを中央集約的に自動管理します。

ポリシー定義にもとづくキー管理

✓キー管理をウェブブラウザやAPIを通じて容易に自動化でき、ポリシーの設定によって管理されるので、誰でも簡単に使用できます。

マルチテナント

✓完全なマルチテナントサポートにより、異なる業務におうじた柔軟な対応を可能としながら、安全確実な管理を共有できます。

きめ細かなセキュリティ

✓仮想マシン内のデバイスごとに暗号化キーを適用できます。標準的なデータパーティションやWindowsのブート、Linuxのルート、スワップのパーティション、ファイルなどのオブジェクトごとに暗号化キーが適用でき、しかも、それらは複数の仮想マシン間や、データセンターとAmazon S3などのクラウドベースのストレージとの間を移動させることが可能です。

オンラインでキー再発行

✓社内規定にしたがって、データのキー再発行用にポリシーを設定できます。

高い可用性

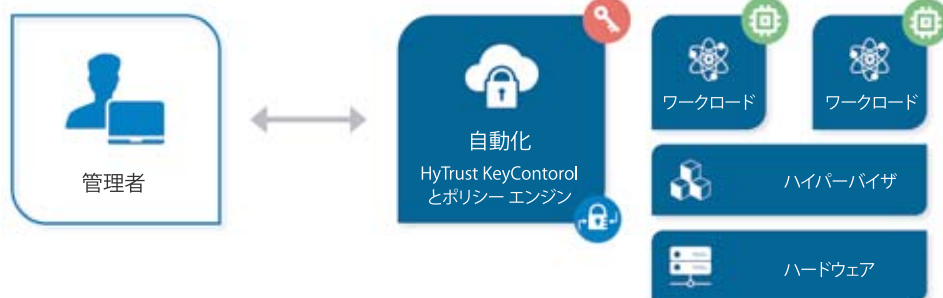
✓HyTrust KeyControlは分散クラスタに配備でき、フェイルオーバーの適用や高い可用性を確保します。



対応プラットフォーム

- プライベート クラウド :
vSphere、vCloud Air、VCE、VxRail、Nutanix、Simplivity、Pivot3、その他
- パブリック クラウド :
AWS、IBM Cloud、Microsoft Azure、その他
- マルチハイパーバイザー :
ESXi、Hyper-V、KVM、Xen

- KeyControl**
キー発行と失効によるポリシーの施行を保証するキー管理
- ポリシー エンジン**
条件に合わせた適切なコントロールを保証:暗号化ポリシーの作成/変更、ポリシーに該当するワークロードと条件の識別により正確な管理を施行
- ポリシー エージェント**
ワークロードと暗号/復号化の実施をポリシーと紐づけ



ハイトラスト クラウドコントロール HYTRUST CloudControl

アクセス制御・内部統制・セキュリティポリシーの徹底 VMware環境の自動セキュリティとコンプライアンス

IT資産管理には、クラウドセキュリティの強化が欠かせません。なぜなら、もっとも重要な資産、ハイパーバイザーを防御し、保護してくれるからです。多くの企業・団体にとって、仮想化インフラが命綱であり、ハイパーバイザーは、言わば「全権を支配する魔法の指輪」のようなものです。だからこそ、クラウドセキュリティにより一層の注意を払い、ハイパーバイザーを堅牢にし、アクセスにしっかりと鍵をかけ、仮想環境を監視し、管理を万全にすることの重要性がかつてないほど増えています。

HyTrust CloudControlは、vSphere、NSXおよびESXiの管理者がすでに使い慣れているGUIには影響を与えずに、各種セキュリティの強化やそのポリシーの徹底を可能にします。透過型プロキシとして配備されるので、管理者が普段使い慣れている画面から実行した処理を、適宜仲介し、調整します。認可された処理はそのまま実行し、認可されない処理はブロックして、追加の認可申請を可能にします。

●ロールベースのアクセス制御(RBAC)

どのファンクションがどの資源にアクセス可能であるべきかを管理します。アクセス権限をガバナンスとコンプライアンスの要件に、より厳密に整合させることができます。

●セキュリティポリシー管理(ツーパーソン認証など)

ポリシーを定義し、その施行を徹底させます。危険性のある処理に対しては二人目の認証を必要とするなど、人的ミスや悪意のある行為からシステムを守ります。

●二要素認証に代表される強固なアクセス制御

強い権限を持つ管理者アカウントを狙ったAPT攻撃が増えている中、二要素認証などによるアクセス制御策は組織全体のセキュリティ体制を飛躍的に強化し、複雑なパスワード要件だけでは補えなかった従来の脆弱性を解消します。

●フォレンジック(不正証跡)グレードログ

コンプライアンス(および高度セキュリティ)は誰がどのような処理を許可されたか、のみならず、誰が何を許可されなかったかも記録する必要があります。フォレンジックグレードログが仮想環境において何が起きたのか、そして何が起きなかったのか、についての綿密かつ包括的な分析を提示します。

主な機能

仮想環境の完全保護

- ✓保護:ハイパーバイザー/仮想マシン/データをポリシー定義にもとづいて即時に完全保護
- ✓監視:ハイパーバイザーと仮想マシンのセキュリティとコンプライアンスを継続監視
- ✓修正:仮想マシンの脆弱性をワンクリック修正セキュリティとコンプライアンスを徹底

可視化とコントロール

- ✓仮想化されたプライベート環境、ソフトウェアデファインドデータセンター上で動作するすべての仮想マシンのセキュリティ状態、詳細設定、管理者による実行処理やコンプライアンス事項をくまなく可視化

BoundaryControl(境界コントロール)

- ✓防止:セキュリティポリシーで指定のホストからの仮想マシンの移動や不正なホストへの配置を防止
- ✓施行:ソフトウェアタグまたはIntel TXTに基づいたデータポリシーの施行

組み込みのテンプレート

- ✓CIS ESXi、DISA vSphere、ICD 503 ESXi、KVM、NIST SP 800-53、PCI-DSS、SOX
- 事前設定済みのロール(役割)
- ✓26以上、管理者、監査担当者など

対応プラットフォーム

- vSphere 4.0, 4.1, 5.0, 5.1, 5.5, 6.0
- NSX 6.1, 6.2
- ESXi 5.0, 5.1, 5.5, 6.0
- KVM (CentOS 6.5, 6.6/RHEL 6.5)

複数要素認証のサポート

- RSA SecurID
- CA Storg Authentication

認証方式のサポート

- Active Directory
- RADIUS
- TACACS +

